

対象年齢は、2 歳以上～19 歳未満の方です。

- アメリカでは 2003 年、ヨーロッパでは 2011 年から広く使われており、長年にわたって安全に使用されています。
- 日本でも 2023 年に承認され、2024 年秋から接種が可能になりました。

フルミストの特徴（注射タイプとの違い）

- 痛くない！
→ スプレー式なので、接種時のストレスが少なく安心です。
- 年齢に関係なく 1 回の接種で完了
- 免疫の持続が長い
→ 海外の研究では約 1 年間効果が持続するとされています
（※注射型は通常 4～5 ヶ月とされています）
- 鼻の粘膜に直接免疫がつくため、発症予防効果が高いと考えられています。
- 多少ウイルス株が異なっても、発症を軽くする可能性があります。
- 重症化を防ぐ効果は、注射タイプと同等
- 注射との併用も可能（医師の判断により対応します）

接種後に見られることがある軽い症状

- 鼻水・せき・のどの痛みなど、軽い風邪に似た症状が出る場合があります。
これは生ワクチンの特性による一時的な反応です。

周囲への影響について

このワクチンは、体内でウイルスがごくわずかにしか増えないように設計されています。そのため、まわりの人にうつす力は極めて弱いとされており、国内外でも感染事例の報告はありません。
ご家庭に免疫力が著しく低下した状態で治療を受けている方がいない場合には、小さなお子さまがいるご家庭でも問題なく接種できるとされています。

卵アレルギーのある方へ

フルミストは、製造過程で微量の卵タンパクを含みます。

そのため、重度の卵アレルギーがある方には接種をおすすめしていません。

▼ 以下のような症状が過去にあった方は、接種をご遠慮ください

- 卵摂取後の呼吸困難（ゼーゼー、ヒューヒュー）
- 顔色不良、意識もうろう、ぐったりする
- 強い嘔吐
- 唇やまぶたが腫れる
- 全身にじんましんが出たことがある

このような方には、注射タイプの不活化ワクチン（卵アレルギーでも原則接種可能）をおすすめしています。

医師と相談のうえで検討いただける方

- 卵を食べると軽い湿疹や赤みが出るが、重い症状はない方
- 加熱した卵を少量なら食べられる方

卵アレルギーに関するご相談について

卵アレルギーに関するご相談は、診察時のみ対応しております。

お電話や受付でのご相談はお受けしていませんので、

必ずご予約のうえ、診察時に医師へご相談ください。